

タイトル	川路の「ひと・もの・こと」から学ぶ、地域と共にある学校
名称（学校・地域）	飯田市立川路小学校
日時・場所等	通年の取組
ホームページ	http://kawasc.ed.iidanet.jp/

①からだを鍛え、②を作り、③ぶんを高める『かわじの子』

福祉交流

学校周辺にある養護老人ホーム、デイサービスセンター、宅老所の利用者さんを音楽会や運動会にお招きしたり、人形劇や歌を発表したりと、日常的な交流を行っています。

施設のみなさんからメッセージをいただいたり、手づくりの作品をいただいたりすることで、児童は次の交流への意欲を高めています。



ふるさと学習



天竜川の氾濫により旧校舎 2 階の床上 1m まで浸水した未曾有の大水害「36 災害」の歴史を語り継ぎ、これからの地域防災に自分たちがどんな役割を果たすことができるかを考えるため、6 年生は学区にある

天竜川総合学習館「かわらんべ」で「36 災害」について学んでいます。

また、地域の名勝「天竜峡」の環境保全と活性化についての学習を進め、天竜峡を代表する植物であるアカマツ再生に向けた保護活動、観光案内所への天竜峡 PR パンフレット展示などに取り組んでいます。

地域に働きかける活動

＜川路地区運動会へのスタッフ参加＞

4～6 年生が川路地区運動会にスタッフ参加し、「旗ひろい」、「つな引き」の運営の手伝いを任せていただきました。地域の方からは、「小学生の頼もしい様子が見られてうれしい」「これからもいろいろなことに力を貸してほしい」とのお声をいただいています。



＜「川路の明日を考える研究集会」での発表＞

川路公民館主催の「川路の明日を考える研究集会」に参加し、ふるさと学習についての成果をもとに、20 年先、30 年先のふるさと川路の担い手として、自分たちに何ができるかという視点から地域の活性化について発表しています。

自分たちが地域の役に立っているという自己有用感をたかめることに繋がっています。

